

JINS 初！商品棚の資源循環に挑戦したサステナブル店舗

「JINS 富士入山瀬店」9月16日（金）オープン

廃棄予定の商品棚をアップサイクルし、循環型商品棚として再生

株式会社ジンス（東京本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：田中仁、以下 JINS）は、静岡県富士市にロードサイド店舗「JINS 富士入山瀬店」を 2022 年 9 月 16 日（金）にオープンします。静岡県内の店舗としては 13 店舗目となります。



全国の JINS 店舗で役目を終えた商品棚を原料とした新たな循環型商品棚を開発！

JINS は企業として持続可能な社会の実現を目指し、太陽光パネルを設置し温室効果ガス排出削減に取り組む「JINS 前橋小島田店」やアイウェア業界のロードサイド店舗で初めて「BELS 評価」最高ランクを獲得した環境配慮型店舗「JINS 会津若松店」をオープンするなど、サステナブルな店舗づくりに取り組んでいます。

この度、新たにオープンする「JINS 富士入山瀬店」では、JINS として初めて商品棚の資源循環に挑戦しました。今回、商品棚の素材として採用したのは、廃棄衣類や木材といった原料をアップサイクルした循環型繊維リサイクルボード「PANECO®」。全国の JINS で役目を終え、廃棄予定になっていた約 46 台の商品棚の木材や衣料品などが原料となり、富士入山瀬店用の商品棚 6 台とカウンターの一部として新たに生まれ変わりました。

地域と共生する店舗を目指して、富士市原産の富士檜や地元ゆかりのアートを起用

さらに、地域の方々に JINS をより身近な存在と感じていただきたいとの思いから、下がり天井や店内のボックス型のスツールには、地元富士市原産の富士檜（ひのき）を採用。また、富士市は富士山麓からの豊富な湧き水に恵まれ、「紙のまち」としても知られることに着目し、商品棚の引き出しなどには、従来の木材ではなくコットンパルプや精製木材パルプでつくられた強化紙を使用しています。

店内壁面には静岡県を中心に活躍するイラストレーター齋藤智仁氏のアートを起用。富士市が竹取物語の発祥の地であることから竹や月をモチーフに情緒あふれる空間を作り上げました。

JINS は、これからもサステナビリティを考慮した店舗づくりに取り組んでいくとともに、地域のお客様に愛されるアイウェアブランドを目指してまいります。

店舗概要

- 【店 舗 名】 JINS 富士入山瀬店
- 【オ ー プ ン 日】 2022 年 9 月 16 日（金）
- 【営 業 時 間】 11:00-20:00
- 【所 在 地】 〒419-0204 静岡県富士市入山瀬 503 番 3
- 【電 話 番 号】 0545-67-8667
- 【展 開 本 数】 約 1,000 本
- 【店 舗 面 積】 52 坪

店内紹介



廃棄予定の JINS の商品棚と衣料品を原料とし、下がり天井の素材に富士市原産の富士檜（ひのき）を採用。また再生素材「PANECO®」を使用した商品棚。



富士市が竹取物語の発祥の地であることから、竹や月をモチーフにしたイラストを。

企画・設計協力：株式会社スペース

PANECO®

布だけではなく合成皮革など廃棄衣料品に含まれるさまざまな繊維をアップサイクルすることができる繊維リサイクルボード。硬度があり加工しやすく、店舗やオフィスなどの様々な空間の内装、ディスプレイ什器、家具など、多様な目的に使用することができ、使用後も再びボードとしてリサイクルすることができる。

イラストレーター／齋藤智仁（さいとうともひろ）

1983 年生まれ。中学と高校をオーストラリアで過ごす。

その間洋楽の CD ジャケットのデザインに興味を持ち独学でデザインを学ぶ。多摩美術大学グラフィックデザイン科に入学、卒業後はグーヴィジョンズに 11 年所属。子供の誕生を機に静岡に拠点を移す。現在はブランディングを軸に、ロゴ、パッケージ、エディトリアルなどさまざまなデザインを幅広く手掛けている。



JINS 紹介

2001 年より展開するアイウェアブランド「JINS」。全国に 464 店舗（※2022 年 8 月末時点）を展開。薄型非球面レンズ代込み 5,500 円よりメガネを販売し、店頭には定番からトレンドの商品まで常時約 1,200 種をラインアップ。業界に先駆けて発売した軽量メガネ「Airframe」やブルーライトカットメガネ「JINS SCREEN」はメガネの概念を覆し新市場を開拓。オンライン試着や似合い度判定、OMO による新たな購買体験の開発など、常に新しいイノベーションを創造し続けています。